

当院は下記の調査を実施しています

記

課題名

日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視点的研究

調査の目的・意義

ノカルジアは、土中などにいるグラム陽性糸状菌であり、ヒトにおいて重度の日和見感染を引き起こします。近年、免疫抑制状態の患者の増加と関連して、ヒトのノカルジア症の症例が増加しています。①日本の施設で診断されたノカルジア症の臨床的・細菌学的特徴や、②日本におけるノカルジア症の感受性をまとめることを最終的な目的としています。

調査の方法

2010年から2017年の間にノカルジア症と診断され、当院から千葉大学真菌医学研究センターへノカルジアの菌同定及び感受性を依頼した患者様を対象としています。下記の調査項目について、研究主任機関である東京都立多摩総合医療センターへデータを送ります。集めたデータを後方視的に解析し、治療の有効性や病態に関して検討を行います。新たにお願いすることはありません。

▶ □調査項目

患者さんの性別、年齢、合併疾患

ノカルジア培養採取時の症状、治療歴、経過など

*患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報
は調査対象ではなく、
個人情報は保守されます。

調査実施機関

現時点で確定している病院：

千葉大学医学部附属病院、千葉市立青葉病院、東京都立多摩総合医療センター

研究協力機関：全国の200以上の病院(予定)

※ 調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者：リウマチ膠原病科 山本真理 TEL :052-652-5511